

## 次期ブラウザ対応FAQ

更新日  
2021/12/15

項番	カテゴリ	質問内容	回答内容
1	端末設定	電子入札補助アプリのバージョンアップは必須か。	電子調達システムをEdgeまたはChromeで利用いただくには、電子入札補助アプリがVersion1.1以降であることが条件です。ご利用中の電子入札補助アプリがVersion1.1以降であればバージョンアップ不要です。Version1.0であればバージョンアップが必要です。
2	端末設定	電子入札補助アプリのバージョンアップ方法を知りたい。	JACIC様提供の「電子入札補助アプリインストール手順書」を参照願います。手順書の6項にバージョンアップ手順が記載されています。
3	端末設定	EdgeまたはChromeの設定期限はいつか。	電子調達システムのサポート対象ブラウザは2022年5月16日からEdgeまたはChromeに切り替わります。同時にInternet Explorerはサポート対象外となります。このため、5月13日までに設定完了するようお願いいたします。
4	端末設定	EdgeとChromeの両方を設定する必要があるのか。	どちらか一方のブラウザを設定いただければ問題ありません。また両方設定しても問題ありません。
5	端末設定	EdgeとChromeのどちらを選択すれば良いのか。	どちらを選択いただいても構いません。使い慣れたブラウザを選択願います。
6	端末設定	Edgeのインストール手順を知りたい。	MicrosoftのサイトよりMicrosoft Edgeのインストーラーをダウンロードし、実行してください。 <a href="https://www.microsoft.com/ja-jp/edge">https://www.microsoft.com/ja-jp/edge</a>
7	端末設定	Edgeの設定手順を知りたい。	設定手順は「電子調達システム 次期ブラウザ対応 受注者様向け設定手順書」を参照願います。
8	端末設定	Chromeのインストール手順を知りたい。	GoogleのサイトよりGoogle Chromeのインストーラーをダウンロードし、実行してください。 <a href="https://www.google.com/intl/ja_jp/chrome/">https://www.google.com/intl/ja_jp/chrome/</a>
9	端末設定	Chromeの設定手順を知りたい。	設定手順は「電子調達システム 次期ブラウザ対応 受注者様向け設定手順書」を参照願います。
10	端末設定	次期ブラウザ対応を実施するために、何が必要か。(工事業者、物品業者)	1.電子入札補助アプリのバージョンアップ (Version1.1以降であれば不要) 2.EdgeまたはChromeの設定 3.電子入札補助アプリへの許可URLの設定 (検証サイトの追加設定)  ※詳細は「電子調達システム 次期ブラウザ対応 受注者様向け設定手順書」を参照願います。
11	端末設定	次期ブラウザ対応を実施するために、何が必要か。(少額物品業者)	1.電子入札補助アプリのバージョンアップ (Version1.1以降であれば不要) 2.EdgeまたはChromeの設定 3.電子入札補助アプリへの許可URLの設定 (検証サイトの追加設定)  ※詳細は「電子調達システム 次期ブラウザ対応 受注者様向け設定手順書」を参照願います。
12	端末設定	次期ブラウザ対応の設定後はInternet Explorerを削除しても良いか。	次期ブラウザ対応設定後であっても、2022年5月13日(金)まではInternet Explorerで電子入札システムを利用いただく必要があります。このためInternet Explorerは削除しないようお願いいたします。
13	端末設定	次期ブラウザ対応の設定後はInternet Explorerの電子入札システム用の設定は削除しても良いか。	次期ブラウザ対応設定後であっても、2022年5月13日(金)まではInternet Explorerで電子入札システムを利用いただく必要があります。このためInternet Explorerの電子入札システム用の設定は削除しないようお願いいたします。
14	端末設定	事前検証ツールを実行すると、許可URLリストが設定されていないとのメッセージが表示された。	指定のURLを手動で入力してください。  ※詳細は「電子調達システム 次期ブラウザ対応 受注者様向け設定手順書」を参照願います。
15	端末設定	次期ブラウザ対応の設定は、2022年5月16日以降に行っても良いか。	2022年5月16日以降でも設定を行えます。 ただし、次期ブラウザ対応の設定が完了するまで電子調達システムが利用できない期間があるため、できる限り期日までに設定をしていただければ幸いです。
16	端末設定	次期ブラウザ対応することでWindows11のパソコンで電子入札システムが利用可能になるのか。	次期ブラウザ対応に関係なく、現時点では電子入札システムでWindows11のパソコンは利用できません。
17	現行システムの利用 (2022年5月13日まで)	次期ブラウザ対応すれば、EdgeまたはChromeで電子入札システムを利用できるのか。	電子入札システムをEdgeまたはChromeで利用可能となるのは2022年5月16日以降です。それまでは従来どおりInternet Explorerで利用いただく必要があります。
18	現行システムの利用 (2022年5月13日まで)	5月16日以前で電子入札システムをEdgeまたはChromeで利用するとどうなるのか。	電子入札システムをEdgeまたはChromeで利用すると「画面崩れ」や「画面遷移時のエラー」が発生します。電子入札システムとして動作保証できませんので、5月16日以前はEdgeまたはChromeを利用しないようお願いいたします。
19	現行システムの利用 (2022年5月13日まで)	5月16日以前であってもEdgeのIEモードであれば電子入札システムは利用可能か。	EdgeのIEモードは電子入札システムのサポート対象外のため利用できません。
20	次期ブラウザ対応後のシステム利用 (2022年5月16日以降)	5月16日以降で電子入札システムをInternet Explorerで利用するとどうなるのか。	電子入札システムをInternet Explorerで利用すると「画面崩れ」や「画面遷移時のエラー」が発生します。電子入札システムとして動作保証できませんので、5月16日以降はEdgeまたはChromeを利用するようお願いいたします。
21	次期ブラウザ対応後のシステム利用 (2022年5月16日以降)	5月16日以降であれば、EdgeのIEモードならば電子入札システムは利用可能か。	EdgeのIEモードは電子入札システムのサポート対象外のため利用できません。
22	次期ブラウザ対応後のシステム利用 (2022年5月16日以降)	Internet Explorerのサポート終了までは、電子入札システムでもInternet Explorerを利用し続けることは可能か。	Microsoft社のサポートは2022年6月15日に終了しますが、電子入札システムのInternet Explorerでの利用期限は2022年5月13日です。5月16日以降はEdgeまたはChromeを利用願います。
23	次期ブラウザ対応後のシステム利用 (2022年5月16日以降)	次期ブラウザ対応を契機に改めて利用者登録する必要はあるのか。	利用者登録の再実施は不要です。次期ブラウザ対応前の利用者情報を継続利用できます。

## 次期ブラウザ対応FAQ

更新日  
2021/12/15

項番	カテゴリ	質問内容	回答内容
24	次期ブラウザ対応後のシステム利用 (2022年5月16日以降)	5月16日以降にEdgeまたはChromeで電子入札システムを利用する場合、何か注意することはあるか。	5月16日以降で電子入札システムを最初に利用する場合、電子入札システム補助アプリとブラウザ(edgeまたはChrome)のキャッシュクリアが必要です。キャッシュクリアしない場合、画面遷移でエラー発生することがあります。
25	次期ブラウザ対応後のシステム利用 (2022年5月16日以降)	EdgeまたはChromeで電子入札システムを利用するとエラーが発生する。	5月16日以降で電子入札システムを最初に利用する場合、電子入札システム補助アプリとブラウザ(edgeまたはChrome)のキャッシュクリアが必要です。キャッシュクリアしない場合、画面遷移でエラー発生することがあります。
26	次期ブラウザ対応後のシステム利用 (2022年5月16日以降)	EdgeまたはChromeに切り替わることで画面や操作は変わるのか。	利用ブラウザが変わるだけで、電子入札システムの画面や操作は変わりません。
27	次期ブラウザ対応後のシステム利用 (2022年5月16日以降)	次期ブラウザ対応することで処理速度は変わるのか。	処理速度に特に変化はございません。
28	次期ブラウザ対応後のシステム利用 (2022年5月16日以降)	次期ブラウザ対応により電子入札システムのURLは変更されるのか。	URLは変わりません。現行と同じです。
29	次期ブラウザ対応後のシステム利用 (2022年5月16日以降)	次期ブラウザ対応後、電子入札システムのURLは「検証用サイトのURL」に変わるのか。	URLは変わりません。現行のままです。検証用サイトは検証専用です。またURLも一時的なものです。
30	検証サイト	工事、物品とも利用している場合、検証サイトでの確認は両方とも実施すべきか。	工事、物品のどちらかでの確認で問題ありません。ただし、念の為、両方の検証サイトでの確認を推奨します。
31	検証サイト	工事、物品、小額物品を利用している場合、検証サイトでの確認はすべて実施すべきか。	いずれかひとつの検証サイトの確認で問題ありません。ただし、念の為、すべての検証サイトでの確認を推奨します。
32	ヘルプデスク	次期ブラウザ対応(edgeやChromeの設定等)の問合せは現行ヘルプデスクでも受付けてくれるのか。	現行ヘルプデスクは次期ブラウザ対応の問合せは受け付けません。次期ブラウザ対応に関する問合せは専用ヘルプデスクへ連絡願います。
33	ヘルプデスク	次期ブラウザ対応のヘルプデスクは電子調達システムの操作や不明点の問合せも受付けてくれるのか。	次期ブラウザ対応に関する問合せのみ受け付けます。電子調達システムの操作や不明点は現行ヘルプデスクへ問合せ願います。